

令和3年度 自己評価説明表

項目	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない	備考
----	-------	---------	---------	----

第1 学校運営

1 設置者の理念（評価者は設置主体又は学校長）

(1)	設置者の理念・指針は明確になっているか	③	2	1	学校案内や学生便覧等に記載しており、年度初めのオリエンテーションで説明し全体に周知している。
(2)	組織の構成と教職員の任命が明確になっているか	③	2	1	組織の構成は業務規程、学校組織図等で、教職員の任命は業務規程で明確になっている。
(3)	職員の倫理規程・福利厚生が整備されているか	③	2	1	職員倫理については医師会職員就業規程、服務規程等で明文化されているほか、駐車場の無償提供、健康診断・予防接種、ワークバルを活用した福利厚生事業などを行っている。
(4)	財政基盤について教職員は理解しているか	③	2	1	財政基盤については予算書、決算書等を配布し、教職員全員が理解できるよう職員会議等で伝えている。
(5)	施設整備（整備の考え方と整備計画）がされているか	③	2	1	令和元年度入学生から施設設備整備費負担金を徴収しており、冷暖房設備の更新、教室の床・壁の改修等を計画的に行っている。

2 組織体制の考え方（評価者は学校長・又は副学校長）

(1)	組織体制（会議）は明確になっているか	③	2	1	組織体制は医師会職員就業規程及び業務規程で、会議は各種会議運営管理規程で明確になっている。
(2)	学校長、副学校長、事務長、教務主任、実習調整者、専任教員及び事務員の役割が明確になっているか	③	2	1	本校教職員の役割は、業務規程及び事務決裁規程で明確になっている。
(3)	教職員の資質向上の考え方と対策が明確にされているか	③	2	1	研修計画を立てて資質向上の考え方と対策を明確にしており、コロナ禍で参加できない研修もあったが、できるだけリモートで参加するよう努めた。
(4)	組織の構成と教職員の任用の考え方が明確になっているか	③	2	1	組織構成は医師会職員就業規程の規定を受けて業務規程で明確にしており、教職員の任用の考え方は医師会職員就業規程及び実情を勘案して管理職が判断・決定をしている。
(5)	財政基盤が安定しているか	③	2	1	設置主体の財政基盤は安定しており、学校運営基金を設置し喫緊の運営課題に対処している。

3 危機管理（評価者は学校長又は副学校長）

(1)	地震、津波、台風等の自然災害が発生した時に、迅速かつ適切に安全を確保できる体制が整っているか	③	2	1	安全確保できる体制は防災管理規程に基づき整備されており、緊急連絡網、緊急一斉メール、通知文書等を活用しながら、学生や教職員のいち早い安全確保に努めている。
(2)	消防機関と連携しながら災害発生を想定した避難訓練を実施しているか、また、校内で避難経路の周知が図られているか	③	2	1	年1回、学生及び教職員が参加し、災害避難訓練を行っており、避難経路については、校内各所への避難経路図の貼出し、学生便覧への掲載などにより周知を図っている。
(3)	学校の内外で感染症が発生した場合に備え、適切な感染予防又は感染拡大防止策を講じているか	③	2	1	新型コロナウイルス対応では感染予防又は感染拡大防止策として、毎日の体温測定・行動確認、手洗い・うがいの励行、消毒薬の設置、ワクチン接種(3回)等に取り組んだほか、臨地実習前には特定の感染症の抗体のない学生への予防接種を実施している。
(4)	感染症の感染拡大を抑えるため、在学生、教職員その他学校関係者に対し協力要請等を適時に行っているか	③	2	1	学生及び教職員には口頭又は書面による注意喚起を行い、学内に3密回避等のポスター及び学校長通知文などを掲示するとともに、保護者にも学校長通知文を送付して協力要請を行った。
(5)	感染症の予防及び拡大防止に係る予算を獲得し、迅速かつ適切に執行しているか	③	2	1	感染症の予防に係る予算として、教室前設置用の消毒薬、講師室用のアクリル板、講師用のフェイスガード等の購入費用を確保し、迅速に購入・配置をしている。
(6)	自然災害等が発生した場合における対応方針が教職員、学生及び保護者に周知されているか	3	②	1	自然災害が発生した場合の対応方針は、防災管理規程等に定めて避難訓練等により教職員及び学生に周知徹底を図っているが、自然災害の対応方針について保護者に十分に周知していない。

第2 教育理念及び教育目的（評価者は運営委員会）

1 教育上の特徴、法との整合性

(1)	教育理念及び教育目的は、自養成所の教育上の特徴を示しているか	③	2	1	令和4年度からは、秋田県の現状や疾病構造、地域特性等を踏まえ今年度改正した教育課程を施行することとしており、より本校の教育上の特徴を示した内容になっている。
(2)	教育理念及び教育目的は、法との整合性があるか	③	2	1	指定規則等関係法令を遵守し、法との整合性を図っている。

2 学習指針の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示しているか	③	2	1	学生便覧等に記載し、必要に応じて学生に説明しながら指導を行っている。
(2)	教育理念及び教育目的は、実際に学生の学習の指針になっているか	③	2	1	学生便覧への記載、年度初めのオリエンテーションでの説明等により、学生の学習の指針になっている。

3 教育内容、教育方法及び教育環境の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容を設定しているかを述べているか	③	2	1	教育理念等は抽象的で内容の重複があったため、改正後の教育課程（以下「新教育課程」という。）においてより具体的に文言を修正し、内容の重複を解消しながら各分野を具体的に設定している。
(2)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育方法をとるのかを述べているか	③	2	1	どのような教育方法をとるかについて、学生便覧、シラバス、実習要項等に示している。
(3)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるのかを述べているか	③	2	1	どのような教育環境を整えるかについて、学生便覧、シラバス、実習要項等に示している。

4 看護、看護学教育、学生観の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、看護、看護学教育及び学生観について明示しているか	③	2	1	教育課程の改正作業において、社会情勢や学生の特徴の変化に応じた内容の見直しをし、文章表現を変更した。
(2)	看護、看護学教育及び学生観は、実際に教師の教育活動の指針となっているか	③	2	1	教育活動の指針になっていることが、教育課程の改正作業において確認できた。

5 卒業時のもつべき資質、社会への保障の明確化

(1)	教育理念及び教育目的は、養成する看護師等が卒業時点においてもつべき資質を明示しているか	③	2	1	高い能力を持った看護師として四つの視点を掲げている。
(2)	卒業時点にもつべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっているか	③	2	1	社会に対する看護師の質保障という観点で、新教育課程において、卒業時点で持つべき資質をより具体的に表記している。

第3 教育目標（評価者は専任副学校長）

1 教育目標と教育理念及び教育目的の一貫性

(1)	教育目標は、教育理念及び教育目的と一貫性があるか	③	2	1	教育目標は、教育理念及び教育目的と一貫性があり、新教育課程において更に具現化している。
-----	--------------------------	---	---	---	---------------------------------------------

2 教育目標(教育内容及び最上位の目標)

(1)	教育目標は、設定した教育内容を網羅しているか	③	2	1	教育目標は、設定した教育内容を全て読み込めるように表記されている。
(2)	教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読みとれるものとなっているか	③	2	1	教育目標は、看護師の質保障として求められる事項を具体的に表現している。

3 到達レベル及び実現可能な教育目標

(1)	教育目標は、目標内容と到達レベルが対応しているか	③	2	1	新教育課程において、教育目標の内容の重複を整理し、両者が対応するよう表現を変更した。
(2)	教育目標は、具体的で実現可能なものとなっているか	③	2	1	新教育課程において、具体的で実現可能な目標表現とした。

4 能力育成と成長を促す教育目標

(1)	看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定しているか	③	2	1	実践者育成の要素と学生の成長を促す内容となっている。
-----	-----------------------------------------------------	---	---	---	----------------------------

5 卒業後の継続教育の考え方

(1)	卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定しているか	③	2	1	生涯にわたって自主的かつ継続的に自己啓発できる姿勢を育成するように設定している。
-----	---------------------------------	---	---	---	------------------------------------------

第4 教育課程経営（評価者は教務主任）

1 教育課程経営者の活動

(1)	教育課程編成者及び教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確にしているか	③	2	1	専任教員にあつては教務会議等で相互理解を図り、非常勤講師にあつては講義開始時にその関連性を明確にしている。
(2)	教育課程編成者及び教職員全体は、教育理念及び教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っているか	3	②	1	教職員全体で一貫した活動を行うよう努めているが、必ずしも十分とはいえないので、教育理念及び教育目的の達成に向けて一貫した活動ができるよう教育課程の改正を行った。

2 教育課程編成の考え方とその具体的な構成

(1)	看護学の内容について明確な考え方と根拠を持って教育課程を編成しているか	③	2	1	教育課程改正は、時間割編成上に制約はあるものの、看護学の内容についてより明確な考え方と根拠を示せるよう教育課程の改正を行った。
(2)	学修の到達について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成しているか	③	2	1	学年ごとに学習行動目標を提示し、卒業時の到達目標が達成できるように編成していたが、さらに学習の到達度を向上させるため教育課程の改正を行った。
(3)	学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成しているか	③	2	1	学年ごとに獲得すべき学習行動を積み上げ方式で示しているが、十分とはいえないため、令和4年度施行に向けて教育課程の改正を行った。

3 科目及び単元構成

(1)	明確な考え方と根拠をもって科目を構成しているか	③	2	1	当初の科目の考え方と根拠を明確にするともに、変更するときは、教務会議で検討して共通理解を図っている。
(2)	明確な考え方と根拠をもって単元を構成しているか	③	2	1	当初の単元の考え方と根拠を明確にするともに、変更するときは、教務会議で検討して共通理解を図っている。
(3)	科目と単元の構成の考え方は、教育理念、教育目的及び教育目標と整合性があるか	③	2	1	教育理念等に含まれる各要素を教育基盤として科目と単元に取り入れているので整合性はあったが、教育課程の改正作業の過程で更なる整合を図った。
(4)	構成した科目は、看護師を養成するのに妥当であるか	③	2	1	現行の教育課程でも妥当性はあるが、教育課程の改正の過程で、社会の要請に応えられるよう新たな視点を取り入れた。
(5)	構成した科目は、養成所の特徴を現しているか	③	2	1	養成所の特徴を現している科目構成とは必ずしもなっていないため、本校の特徴を十分に現せるよう教育課程の改正を行った。

4 教育計画

(1)	単位履修の方法とその制約について、教師、学生の双方がわかるように明示しているか	③	2	1	シラバス、実習要項等に明示している。
(2)	単位履修の方法は、学生の単位履修を支援するものとなっているか	③	2	1	シラバス、実習要項等には成績評価も含め授業計画として示しており、学習困難な学生の支援も行っている。
(3)	単位履修制の考え方を踏まえつつ、看護師になるための学修の質を維持できるように、科目の配列をしているか	③	2	1	科目の配列については、時間割編成上の制約があつて十分とはいえないことから、教育課程の改正の過程でより学習の質を維持できるようにした。

5 教育課程評価の体系

(1)	単位認定の基準は、看護師等に必要学修を認めるものとして妥当であるか	③	2	1	当該基準は、成績評価・卒業認定の基準等に関する規程に規定し公表しており、内容的にも妥当である。
(2)	単位認定の方法は、看護師に必要な学修を認めるものとして妥当であるか	③	2	1	講義評価は最終科目試験、レポート、小テスト等で、臨地実習評価は学生、指導者及び教員で行っており、妥当である。
(3)	他の高等教育機関との単位互換又は他の高等教育機関での履修済単位の認定が可能な体制を整えているか	③	2	1	単位互換制度は整えていないが、既修得単位認定制度を整えている。
(4)	教育課程を評価する体系を整えているか	③	2	1	当該体系として、自己評価及び学校関係者評価のほか、卒業生アンケートの制度を整えている。
(5)	評価結果の活用における倫理規程を明確にしているか	③	2	1	自己評価規程及び学校関係者評価規程に基づき改善計画を立てるなど、評価結果の活用について明確に謳っている。

6 教員の教育及び研究活動の充実

(1)	教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分しているか	3	②	1	専門性を発揮できるように教員の意向等を尊重しているが、教員の担当科目と時間数の配分に差がある。
(2)	教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えているか	3	②	1	授業準備のための時間を確保できるようにしているが、実習と講義及び演習等が重なる場合などは、特に十分に確保できているとは言えない。
(3)	教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えているか	③	2	1	講習会、研修会、学会等への参加や自己研鑽用のテキスト購入など自己研鑽システムを整えている。
(4)	教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステムを整えているか	3	②	1	講習会等への参加者の復命書の回覧は行っているが、相互研鑽のための伝達講習を行う時間を確保できていない。

7 学生の看護実践体験の保障

(1)	臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念、教育目的及び教育目標を理解しているか	③	2	1	臨地実習指導者会議の場で本校の教育理念、教育目標等を確認していることから、十分理解されている。
(2)	臨地実習施設は、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えているか	③	2	1	看護業務と学生指導を兼務しながら行うなど、限られた時間を有効に活用して学習を支援する体制を整えている。
(3)	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者の役割を明確にしているか	③	2	1	臨地実習指導者会議で臨地実習指導者の役割を明確にしている。
(4)	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしているか	③	2	1	臨地実習指導者会議で教員の役割を明確にしている。
(5)	臨地実習指導者と教員の協働体制を整えているか	③	2	1	実習前の打合せや実習後の振り返り、日々の指導の中で、学習内容や指導方法について意見交換をするなどして協議体制を整えている。
(6)	学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示しているか	③	2	1	臨地実習の対象者の権利に関する事項は、対象者本人と結ぶ同意書でその考え方を明示している。
(7)	対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っているか	③	2	1	看護倫理の基本方針に沿った学校独自の倫理指針を実習要項に織り込み、これに従って指導を行っている。
(8)	臨地実習において学生が関係する事故を把握し、分析しているか	③	2	1	実習中の事故等については、倫理指針に基づき要因の分析及び再発防止策の立案を行い、学生への啓蒙活動につなげている。
(9)	学生に対する安全教育及び安全対策を計画的に行っているか	③	2	1	臨地実習前のオリエンテーション及び医療安全教育を十分かつ計画的に行っている。

第5 『基礎看護学』にける教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育過程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	指導要項や学生の習熟度などを勘案し、当該学生のための授業内容を設定している。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	授業内容のまとまりの考え方は、シラバスなどに掲示し明確にしている。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	その考え方は、科目目標との整合性を考慮して作成されているシラバスに沿って授業を行っているため、両者は整合性を有している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	看護師国家試験出題基準を基盤として内容を設定しているため、妥当性はある。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	②	1	領域内では、重複や整合性を吟味しているが、他の領域での授業内容においては、十分に明記されていない。学習の発展を含めた計画の明示が必要である。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	新型コロナウイルスの感染予防対策のため、演習の進行を変更したが、学習進度に大きな混乱はなく効果的な授業形態を選択し実施できた。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	授業展開に用いる指導技術については、シラバスと授業計画に明示し、実践している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	演習後の振り返りを行い、自己の成果や課題を明確にさせている。討議法演習において技術演習の事例患者の身体面・精神面・社会面のニーズは何かを考えさせるカンファレンスを実施している。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	③	2	1	教員間で学習目標や内容、方法の共通理解を図り、演習や実習においての学生の学習状況を情報交換し指導方法を検討しながら進めている。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	評価方法をシラバスや実習要項に提示しており、計画どおりに実践している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	評価結果に基づき、授業内容の再構築を検討している。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	3	②	1	筆記試験、演習及び技術試験の取組、実習状況等をもとに総合的な評価をしているが、より効率的な評価方法を検討する必要がある。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	評価表を作成し、教育目標の達成状況を筆記試験及び実技試験により把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	シラバスや実習要項に科目ごとの評価項目を公表している。それらを見せながら初講時や試験前には、口頭での説明や確認も実施している。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	上記(5)に記載のとおり単位認定の評価方法を公表し、教員ごとに相違がないように評価していることから、公平性は十分に保たれている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	②	1	領域内では指導の一貫性があるかどうかを検討しているが、養成所全体での指導も一貫性については十分とは言えない。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	②	1	成績不振の学生に関して学習習慣の構築や個人に合わせた効果的な学習方法の獲得に繋がるよう、チームによる取組が必要である。

第6 『成人看護学』にける教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育過程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	指導要項や学生の習熟度などを勘案し、当該学生のための授業内容を設定している。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	授業内容のまとまりの考え方は、シラバスなどに掲示し明確にしている。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	その考え方は、科目目標との整合性を考慮して作成されているシラバスに沿って授業を行っているため、両者は整合性を有している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	看護学の教育内容を十分に意識して授業を構成しており、妥当性は認められている。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	②	1	領域内では明確になっているが、他領域との関係では充分とは言えない。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	授業内容に合わせて適宜・適切な授業形態を選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	授業展開に用いる指導技術については、シラバスと授業計画に明示している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	支援や具体的方法を提示し実施している。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	③	2	1	オムニバスが増えたが、シラバスに沿って指導しており、領域内の協力体制は維持できている。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	評価計画を立案しこれを有効に活用している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	学生の理解度を考慮しながら、授業の改善を行っている。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記、グループワーク、レポートなど様々な評価方法を取り入れている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	評価表を作成し、教育目標の達成状況を多面的に把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	成績評価・卒業認定基準を規程化し公表しているほか、シラバスや実習要項に科目ごとの評価項目を記載している。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	上記(5)に記載のとおり単位認定の評価方法を公表し、教員ごとに相違がないように評価していることから、公平性は十分に保たれている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	②	1	領域内では一貫性を保っているが、養成所全体としては必ずしも一貫性があるとは言えない。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	③	2	1	シラバスの提示や学習への指導は学生全体に対して実施するとともに、成績低迷の学生に対しては個別に強化している。

第7 「老年看護学」にける教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育過程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	専門基礎分野終了後、2年次前期から後期にかけて学習する内容となっており、高齢者体験学習なども取り入れて理解を深められるようにしている。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	シラバスで示しているとともに初講で説明をしている。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	科目の目標は学習内容を端的に示している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	臨地実習で経験する技術について、老年看護学方法論で留意点など確認した。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	②	1	他領域との重複が見られるため、担当教員間での協議が必要と思われる。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	学生同士の成長を促すため演習やグループ学習・疑似体験などを行っている。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	シラバスや演習時の資料に考え方を示し、これに基づき実践している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	②	1	既習内容の振り返りができるよう意識して授業展開をしているが、理解の程度は学生により差が見られるため工夫が必要と思われる。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	②	1	領域の専門性が強く協力体制を得られるのは一部となっている。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	必要時には、詳細な計画を立案している。また、臨地実習においては各学生ごとに学習内容を計画しているが、学習困難者に対してはより詳細な計画を立てている。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	②	1	他者評価や講義終了後の振り返りをして、改善につなげているが、教材検討などまだ十分とは言えない。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	学生観、授業内容を考慮し評価方法をレポート、ペーパー試験など選択している
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	ペーパー試験のほか、レポートによる評価も行っている。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	レポートの評価は評価内容や基準を配布した後に説明し、ペーパー試験では返却時に採点に関して説明し、臨地実習では中間評価や最終評価を実施し説明している。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	公平性が保たれるよう、レポート等の評価にも項目を設け学生に配布し、説明している。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	②	1	シラバスは統一されているが、指導という点では教員の専門性が高く全体の一貫性があるとは言えない。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	②	1	看護師になりたいという強い思いがある学生とそうではない学生とではモチベーションに差が生じているので、全体のモチベーションが上がるようにしていく必要がある。

第8 『小児看護学』にける教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育過程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	学生の既習内容を考慮し2年次から授業を行っており、教育課程と一貫した内容となっている。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	シラバスに内容を明示しており、授業開始時には内容を明確に説明している。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	科目目標が達成されるよう授業内容を設定しており、整合性を有している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	3	②	1	教育内容として妥当性があるかを国家試験出題基準等も踏まえて検討し変更しているが、再検討は必要である。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	②	1	領域内の科目で重複する部分については、シラバスに明記され明確になっており説明もしている。他領域との重複・整合性については十分とは言えない。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	授業形態は、学習効果を考慮した内容を適宜選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	3	②	1	授業計画は明示し配付しているが、指導技術についての考え方の明示については不十分である。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	②	1	学習を深化・発展させるためにノート作成などの方法を選択しているが、思考力を高めるために討議をさらに取り入れるなど検討が必要である。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	③	2	1	非常勤講師とのオムニバス方式を採用しており、教員間の連携・協力体制を明確にしている。演習では現在一人で行っているが、スムーズに行うためには教員へ協力を得ることも必要である。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	目標達成を見据えた評価計画を立案しており、実施している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	②	1	評価結果に基づき、授業内容を検討し必要に応じて授業内容の改善を行っているが、十分とは言えない。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記試験のほかにグループワーク・レポート・演習の評価など多様な評価方法を取り入れており、多面的に評価できている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	多様な評価方法により多面的に達成状況を把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	単位認定のための評価基準と方法については、シラバス又は必要時には資料を配布して授業前に口頭で説明をしている。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	評価基準に従って実施しており、公平性は保たれている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	②	1	シラバスの内容については統一されているが、提示や学習への指導については各領域に任されており、全体としての一貫性は必ずしも図られていない。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	②	1	授業開始時にシラバスを提示し説明することで動機づけと支援につながるよう心掛けてはいるが、十分とは言えない。

第9 『母性看護学』にける教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育過程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	学生の状況を踏まえ、専門基礎分野終了後、2年次前期から後期にかけて学習する内容となっている。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	概論から方法論Ⅱまでの段階を踏んだ内容となっており、シラバスで明示している。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	シラバスに示された科目単元ごとの学習内容と科目内容とは整合性を有している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	テキストや国家試験出題基準等から学習内容を精選しており、母性看護学の学習内容として妥当性がある。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	③	2	1	授業内容の重複や整合性、発展性等を各科目、各授業ごとに確認し、明確にしている。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	授業形態は、学習成果が上がるよう授業内容に応じて適宜、適切に選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	シラバスの中で、時間ごとの学習内容、学習方法を明確に示し、授業を実践している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	3	②	1	講義以外での学生からの質問に対応したり、試験対策を示したりしながら、学習支援を行っている。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	2	①	効果的かつスムーズに演習が行えるよう努力しているが、担当教員が1名のため、他領域の教員との協力体制が明確になっているとは言い難い。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	講義、試験等の結果のほか、臨地実習での実践状況、記録等も加味した評価計画を立案し、実施している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	3	②	1	前年度の評価結果に基づき、授業内容の改善を行っているが、十分とは言えない。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記試験のほか、グループワークの評価、レポート評価、提出課題の評価など多様な評価方法を取り入れている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	②	1	上記3の多様な評価方法により達成状況を多面的に把握しているが、実習での客観的評価については工夫する必要がある。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	評価基準等を記載したシラバスを学生に配布して講義開始時に説明するほか、ホームページでも公表している。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	評価基準は規定化し、ホームページ等で公表しているほか、異議申し立ての機会を設け、公平性の保持に努めている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	②	1	学習指導は担当教員に任されており、養成所全体としては必ずしも一貫性があるとは言えない。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	③	2	1	概ね動機づけと支援につながり、全員が単位修得となっている。

第10 『精神看護学』にける教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育過程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	既習内容を考慮し、基礎分野終了後に専門基礎分野と並行して2年次から学習する授業内容を設定している。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	シラバスに考え方を明示し、授業の開始時に科目の構成と学習内容を学生に説明している。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	シラバスに教科目ごとの学習目標を示しており、当該領域の学習目標と授業内容は整合性を有している。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	テキスト、国家試験出題基準等からも学習内容を精選しており、当該領域の学習内容として妥当性がある。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	②	1	授業内容の重複については確認しているが、整合性や発展性等は必ずしも明確にしている。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	授業形態は、学習成果が上がるよう授業内容に応じて適宜・適切に選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	シラバスに指導技術の考え方を明示し、授業展開に応じて学生に説明し実践している。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	臨地実習に活用できる内容をノートにまとめるなどの工夫を行い、臨地実習での学びを深められるよう学習支援している。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	③	2	1	臨地実習では効果的な教育・指導を行うために、担当教員間・指導者間での協力体制は十分に構築されているが、学内の他領域との協力体制は十分とは言えない。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	講義、試験等の結果のほか、臨地実習での実践状況、記録等も加味した評価計画を立案し、実践している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	前年度の評価結果に基づき、講義方法及び講義内容の改善を図っている。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記試験のほかにレポート・グループワーク・演習の評価・実習記録、実践状況など多様な評価方法を取り入れている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	上記(3)のような多様な評価方法により教育目標の達成状況を多面的に把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	成績評価・卒業認定基準を規程化し公表しているほか、シラバスや実習要項に科目ごとの評価項目を記載しており、初講時や試験前には、口頭での説明や確認を行っている。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	上記(5)に記載のとおり、単位認定の評価方法等を公表し、教員ごとに相違がないように評価していることから、公平性は十分保たれている。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	②	1	シラバスは記載する内容を教務会議で検討及び確認しているが、学習への指導は担当教員が行っていることから養成所全体として一貫性があるとは必ずしも言えない。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	②	1	講義前にシラバスを用いて説明し、学習の動機づけと支援につながるようになっているが、必ずしも成果が出ていない。

第11 『在宅看護論』にける教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育過程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	年次別学習行動目標を踏まえ、専門基礎分野、専門分野の内容を確認しながら、授業内容の設定を行っている。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	概論からケア論まで段階を踏みながら進行する授業構成としており、それをシラバスに明示し、学生に説明している。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	科目目標に即し、学習目標の設定を行っているとともに、学習内容を精選し授業内容との整合性を図っている。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	授業内容は教科書、国家試験出題基準に即している。また地域についての学習内容なども考慮しており、妥当性がある。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	3	②	1	科目内での授業内容については重複せず、発展性が持てるように組み立てを行っているが、他領域との重複などについては明確になっていない。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	講義、グループワーク、ディベート、地域を調べる学習など授業内容が効果的に理解でき、発展性が持てる形態を選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	シラバスに概要を明示し、事前に口頭又は告知の貼り出しを行い、詳しく説明し、周知を図っている。
(3)	授業の展開過程のほかに、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	学生同士がディスカッションする機会を意図的に設け、学生間における学習の深化、発展を支援している。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	②	1	臨地実習では教員・指導者間での協力体制は十分に構築されている。学内の他領域との協力体制は十分でない。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	講義、試験、臨地実習の結果など評価計画を立案し、実施前に学生に文章及び口頭で説明し、実施している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	授業での学生の反応、意見、試験結果などを上記に加味し、次年度の改善を図っている。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	筆記試験のほか、グループワーク、レポート、プレゼン発表、ポスターセッションなどパフォーマンス課題を取り入れ、ルーブリック評価なども用いている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	3	②	1	授業においては上記、形成的評価、総括的評価を行っている。また臨地実習では指導者からの他者評価を実施している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	評価基準は規程化し公表しており、シラバスにも明示している。評価内容については事前に詳しい説明を行い、質問も受けながら確認している。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	③	2	1	異議申立ての機会を設けるなど、公平性を保持している。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	③	2	1	年次別学習行動目標に沿い、シラバスへの提示、学習指導を行っていることから、一貫性はある。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	②	1	シラバスを用いて説明し、学習の進行状況によっては学習内容の順番を変えるなど学習の動機づけと支援につながっているが、必ずしも十分とは言えない。

第12 『臨床看護の実践』における教授・学習及び評価過程（評価者は学科別又は領域別専任教員）

1 「授業内容と教育過程との一貫性」、「看護学としての妥当性」及び「授業内容間の関連と発展」

(1)	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されているか	③	2	1	学生の状況を踏まえ、3年次に学習する授業内容として設定している。
(2)	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べているか	③	2	1	授業内容のまとまりの考え方は、シラバス、臨地実習要項などに掲示し明確にしている。
(3)	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を有しているか	③	2	1	科目目標との整合性を考慮して作成されているシラバスに沿って授業を行っているため、両者の整合性は図られている。
(4)	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか	③	2	1	看護学の教育内容を十分に意識して授業を構成しており、妥当性は認められている。
(5)	授業内容の重複や整合性、発展性等が明確になっているか	③	2	1	卒業後の看護活動に必要な基礎学習となっており、他領域との授業内容との重複、整合性などは明確になっている。

2 授業の展開過程

(1)	授業形態（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択しているか	③	2	1	講義から実習、さらにその先の臨床看護を想定できるように授業形態を選択している。
(2)	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践しているか	③	2	1	授業展開に用いる指導技術については、シラバスと授業計画に明示し、実践している。
(3)	授業の展開過程のほかに学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援しているか	③	2	1	講義以外での学生からの質問に対応したり、演習のポイントを示したりしながら学習支援を行っている。
(4)	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしているか	3	②	1	臨地実習では教員・指導者間での協力体制は十分に構築されている。学内の他領域との協力体制は十分とは言えない。

3 目標達成の評価とフィードバック

(1)	評価計画を立案し、実施しているか	③	2	1	演習、グループワーク等による評価計画を立案し、評価基準を示しながら評価を実施している。
(2)	評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか	③	2	1	評価結果に基づいて、事例提示、演習方法等について改善している。
(3)	学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れているか	③	2	1	演習、ワークシート、レポートにおける教員評価のほかに、学生間評価など多様な評価の方法を取り入れている。
(4)	教育目標の達成状況を多面的に把握しているか	③	2	1	個々の課題に対して評価表を作成し、教育目標の達成状況を多面的に把握している。
(5)	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか	③	2	1	単位認定のための評価基準と方法については、シラバス及び初講時の資料に明示して授業前に口頭で説明をしている。
(6)	単位認定の評価は、公平性が保たれているか	3	②	1	演習はグループワークであり、個々の取組が評価に反映していない部分もないとは言えず、公平性を保つことが難しい場合がある。

4 学習への動機づけと支援

(1)	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体として一貫性があるか	3	②	1	領域内では一貫性を保っているが、養成所全体としては必ずしも一貫性があるとは言えない。
(2)	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっているか	3	②	1	シラバスの提示や学習への指導は学生全体に対して実施するとともに、成績低迷の学生に対しては個別に支援を強化した。

第13 経営・管理過程（評価者は、4、5及び9を除き設置主体）

1 設置者の意思及び指針

(1)	養成所の管理者は、教育理念及び教育目的についての考え方を明示しているか	③	2	1	教育理念及び教育目的については、冊子『学校案内』、ホームページ等で明示している。
(2)	養成所の管理者は、教育課程経営についての考え方を明示しているか	③	2	1	教育課程経営についての考え方は、年度初めに活動方針として説明している。
(3)	養成所の管理者は、教育評価についての考え方を明示しているか	③	2	1	成績評価及び卒業認定の基準等に関する規程で明示している。
(4)	養成所の管理者は、養成所の管理運営等についての考え方を明示しているか	③	2	1	管理運営等についての考え方は、管理運営に関する規程で明示している。
(5)	明示した管理者の考えと設置者の意思とは一貫性があるか	③	2	1	学則や各種規程を踏まえて、設置者が予算として具現化していることから一貫性はある。
(6)	教職員は、養成所の設置者と管理者の考え方を理解しているか	③	2	1	教職員全員に配布している学則や各種規程を通して、設置者と管理者の考え方を理解している。

2 組織体制

(1)	養成所の組織体制は、教育理念及び目的を達成するための権限や役割機能が明確になっているか	③	2	1	業務規程、事務決裁規程等により明確になっている。
(2)	意思決定システムが明確になっているか	③	2	1	各種会議運営管理規程、事務決裁規程、文書規程等により明確になっている。
(3)	意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるように整えられているか	③	2	1	施策決定に当たっては各種会議を通して、事務処理に当たっては文書の起案・決裁の手続により、組織構成員の意思を反映できるように整えられている。
(4)	意思決定システムは、決定事項が周知できるように整えられているか	③	2	1	起案・決裁の手続、定例会議等により、決定事項が周知できるように整えられている。
(5)	組織の構成と教職員の任用の考え方と、教育理念及び教育目的達成との整合性があるか	③	2	1	本校運営上最上位にある教育理念及び教育目的の達成ために組織を構成し、適材の教職員の任用に努めていることから、両者に整合性はある。
(6)	教職員の資質の向上についての考え方と対策には、教育理念及び教育目的達成との整合性があるか	③	2	1	教育理念及び教育目的を達成するため、各種研修会・講演会への参加、専門書籍の購入等を認めることにより教職員の資質向上を図っているため、両者に整合性はある。

3 財政基盤

(1)	財政基盤を確保することについての考え方が明確であるか	③	2	1	学校運営基金の活用、授業料等の一般財源、県補助金等も財源として確保していくという考え方が予算編成を通して明確になっている。
(2)	財政基盤を確保することについての考え方は、学習及び教育の質の維持・向上につながっているか	③	2	1	元年度から施設設備費負担金を徴収し、学習及び教育の質の維持・向上に役立てている。
(3)	教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解しているか	3	②	1	予算書及び決算書を教職員全員に配布しているが、内容を周知徹底する手続が十分でない。
(4)	教職員のそれぞれの観点からの財政についての意見は、経営・管理過程に反映できるようにしているか	③	2	1	予算編成の過程で教職員の意見が反映できるようにしている。

4 施設設備の整備（評価者は事務長）

(1)	学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示しているか	③	2	1	予算書を通して、老朽化した施設設備を計画的に更新・整備するという管理者の考え方を明示している。
(2)	管理者の考え方に基づいて整備計画を立案し、実施しているか	③	2	1	学生が学びやすい教育環境の構築という考え方にに基づき、整備計画を立案し、事業として具現化を図っている。
(3)	看護の専門教育に必要な施設設備等を計画的に整備しているか	③	2	1	教材備品の経年劣化が認められるため、演習等で支障が生じないように計画的に更新を行っている。
(4)	医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、施設設備等を整備し、改善しているか	③	2	1	平成27年度及び28年度の大規模改修以降、計画的に医療現場の発展に応じた教材備品の購入・更新を行ってきたほか、校舎の部分的改修作業を行い、改善してきている。
(5)	養成所が設置されている地域環境との関連から、学生及び教職員にとっての福利厚生施設設備等の整備を検討しているか	③	2	1	駐車場その他学校敷地の雪寄せを行う除雪機の購入、自動販売機による販売物の種類の変更などについて、学生及び教職員の福利厚生の面から検討を行っている。
(6)	学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設設備等を整備しているか	③	2	1	経年劣化や設備機器の故障が認められることから、手洗場の改修工事を行ったり、冷暖房設備を計画的に更新した。

5 図書室の運用状況（評価者は司書）

(1)	図書室における蔵書数は国で示している基準に適合しているか、また、分野ごと、領域ごとに整理されているか	③	2	1	蔵書数及び学術雑誌の種類も基準に適合しており、また、分野ごと、領域ごとに整理している。
(2)	図書室の管理等に関する規程を整備し、これに従って司書が図書の貸し出し、返却、図書・雑誌の購入、図書の除籍等を行っているか	③	2	1	図書室管理運営規程及び図書除籍取扱基準に基づき、図書室の業務を行っている。

6 学生生活の支援

(1)	学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に整えているか	③	2	1	成績不振の学生や学習習慣が身につけていない学生に対して早めの指導と支援をしている。
(2)	学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を多角的に整えているか	③	2	1	各種の奨学金制度や高等教育の修学支援制度（授業料等の減免）を運用しているほか、コロナ禍における緊急給付金制度（国）を活用し、助成を受けられるよう支援した。
(3)	支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けているか	③	2	1	今年度、公的奨学金を貸与されている学生は60名ほどであり、そのうち14名が授業料の減免を、7名が入学金の減免を受けたほか、国からの緊急給付金を9人が受けている。

7 情報提供の取組

(1)	教育・学習活動に関する情報提供を関係者（保護者等）に行っているか	③	2	1	学習活動、学校行事等について、保護者との面接、ホームページ、パンフレット等を活用し情報提供している。
(2)	関係者（保護者等）への情報提供は、関係者から協力又は支援を得ることにつながっているか	③	2	1	適宜送付する通知文書により協力を得ることに繋がっている。
(3)	看護師を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っているか	③	2	1	学生募集ポスターの作成配布、進路ガイダンス、学校訪問、学校行事及び学習状況のホームページへのPR記事の掲載等により適切に広報活動を行っている。
(4)	広報の内容は、社会的説明責任を果たすものになっているか	③	2	1	学習状況や行事等を広報の内容に取り入れ、ホームページ等で発信することにより学校の果たす役割を示している。

8 養成所の運営計画と将来構想

(1)	養成所は、明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画、短期計画及び年間計画を立案しているか	3	②	1	年間計画は立てているが、時代の要請に合わせて将来構想に基づく計画を考えていく必要がある。
(2)	その実施・評価は、将来構想との整合性を持っているか	3	②	1	運営計画及び年間計画の実施・評価は、将来構想との整合性が図られるよう努めている。

9 自己評価の目的と方法（評価者は自己評価委員）

(1)	自己評価の意味と目的を理解しているか	③	2	1	自己評価規程に明示されており、その意味と目的を理解している。
(2)	実際に自己評価を行うための知識と方法を明確に持っているか	3	②	1	自己評価を行うための明確な知識と方法については、まだ、完全に身につけていないが、自己評価することについては前向きに取り組んでいる。

10 自己評価体制

(1)	自己評価体制を整え、運用しているか	③	2	1	自己評価規程を整備し運用している。
(2)	自己評価体制は、養成所の教育課程の運営及び授業実践にフィードバックするように機能しているか	3	②	1	上記(1)の規程は、必要な改善を努力義務としているが、フィードバック機能は必ずしも十分に発揮されていない。
(3)	自己評価体制、養成所の教育理念、教育目的及び教育目標の維持・改善につながるよう機能しているか	3	②	1	学校関係者評価結果報告を受け、養成所の教育理念、教育目的及び教育目標の維持・改善につながるよう努めてはいるが、十分に機能しているとは言えない。

第14 入学（評価者は入試委員）

1 教育理念、教育目的及び入試選抜の一貫性

(1)	教育理念及び教育目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べているか	③	2	1	学校案内にアドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)を明示し、ホームページ上でも公表し、入学者の選抜を行っている。
-----	-----------------------------------------	---	---	---	------------------------------------------------------------

2 入学状況及び入学者の推移についての分析

(1)	入学者状況及び入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証しているか	③	2	1	入学選抜方法の妥当性及び教育効果を分析し検証している。
-----	-----------------------------------------------------	---	---	---	-----------------------------

第15 国家試験（評価者は国家試験対策委員）

1 国家試験内容の分析と試験対策

(1)	国家試験内容の分析及び試験対策が明確となり機能しているか	③	2	1	試験内容の分析は国試専門業者の分析を参考にしているほか、今年度から導入したmedilink看護により定期的な問題配信や復習状況の把握ができた。
-----	------------------------------	---	---	---	-------------------------------------------------------------------------

2 合格状況の把握と分析

(1)	合格状況の把握と分析について明確となっているか	③	2	1	受験後の自己採点分析は円滑に実施できている。各領域ごとの分析はそれぞれの領域に委ねられており結果は冊子にまとめられている。
-----	-------------------------	---	---	---	---------------------------------------------------------------

3 不合格者への支援体制

(1)	不合格者への支援体制が明確となり、機能しているか	3	②	1	副学校長が担当し支援を行った。既卒者の動向、学習状況を把握しながら支援したが就業中や県外在住など支援が難しい状況もあった。
-----	--------------------------	---	---	---	---------------------------------------------------------------

第16 卒業、就業及び進学（評価者は進路指導担当）

1 卒業時の到達状況の把握

(1)	卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っているか	③	2	1	進路希望先アンケートを各学年ごとに計画に合わせ定期的を実施し希望状況を把握、就職試験や進学受験の結果も把握し適宜到達状況を捉えている。
-----	---------------------------------	---	---	---	---------------------------------------------------------------------

2 卒業生の分析

(1)	卒業時の到達状況を分析しているか	③	2	1	3年次生の科目評価状況、模擬試験、国家試験の自己採点等をもとに卒業時の到達状況を分析している。また看護教育目標に関するアンケートを実施し、結果の分析を行っている。
(2)	卒業生の就業・進学状況を分析しているか	③	2	1	看護師国家試験の合格発表直後に最終的な卒業生の進路状況を分析している。
(3)	卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念及び教育目標との間で整合性があるか	③	2	1	看護師国家試験の実績、医療機関への就職状況及び進路状況からすると、地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成するという教育理念等と十分に整合性がある。

3 就職先の評価と調査の実施

(1)	卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にしているか	3	2	①	例年開催する校内での就職合同説明会が、新型コロナウイルスの感染予防対策として中止となり、施設担当者との情報交換を実施できなかった。
(2)	卒業生の就業先との情報交換、調査の実施等ができる体制を整えているか	3	2	①	新型コロナウイルスの感染予防対策として就職合同説明会が中止となったと同時に、卒業後の動向を情報交換する方法を検討し、対応すべきであった。

4 卒業生の活動状況の把握と分析

(1)	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理しているか	3	②	1	就職後の卒業生の事例発表会に教員が出席しているが、総合的な活動状況の把握、分析にはいたっていない。
(2)	卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念、教育目的、教育目標及び授業の展開に活用しているか	3	②	1	活動状況の十分な分析には至っていないため、教育理念や授業展開等への活用には課題がある。

第17 地域社会と国際交流（評価者は学校長又は専任副学校長）

1 地域社会との関係

(1)	社会との連携に向けて、地域のニーズを把握しているか	3	②	1	新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、地域行事に参加する機会が減少した。
(2)	看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的にやっているか	3	②	1	新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、地域行事に参加する機会が減少した。
(3)	養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段を持っているか	3	②	1	学校説明会や学校祭などの行事開催や開催時の状況をホームページ等で発信しているが、コロナ禍で地域からの情報を把握する機会が減少した。
(4)	養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っているか	③	2	1	ホームページや広報活動などで発信している。
(5)	養成所が設置されている地域の特徴を把握しているか	3	②	1	地域の傾向をとらえているだけにとどまっている。
(6)	地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れているか	3	②	1	コロナ禍のため外部者の訪問の制限をしたため活動が例年どおりにはできなかったが、老人クラブや障害児との交流などは、課外活動として取り入れていく。

2 国際交流の取組

(1)	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	3	②	1	海外で生活経験のある講師に「国際看護」の講義を行ってもらっている。医療英語を2年次に行っている。
(2)	国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えているか	3	②	1	対象の学生がいなかった。必要に応じて対応することはできる。
(3)	海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えているか	3	②	1	対象の学生がいなかった。必要に応じて対応することはできる。
(4)	留学や海外において看護職に就くことを希望する学生に対応できる体制を整えるか	3	②	1	対象の学生がいなかった。必要に応じて対応することはできる。

第18 研究活動の状況（評価者は学校長又は専任副学校長）

1 教員の研究活動の保障

(1)	教員の研究活動を時間的、財政的及び環境的に保障しているか	3	②	1	教員の研究活動は保障しているが、時間的、財政的及び環境的には十分とは言えない。
-----	------------------------------	---	---	---	-----------------------------------------

2 教員への研究活動の支援

(1)	教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか	3	②	1	研究活動について支援はしているが、体制の整備までには至っていない。
(2)	研究に価値を置き、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にあるか	3	②	1	研究の必要性は認識しているが、日々の忙しさ（講義準備、演習、実習指導）に時間を費やし、お互いに支援するまでには至っていない。